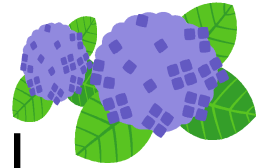




榛の花

大洲小学校だより
令和3年5月31日



私たちの宝「大洲の子ども達」

つい先日、新しい年が始まったような気がします。明日から6月を迎えます。今年例年になく早い梅雨入りとなりました。最近雨の日が続く、運動場で遊ぶことができない時もありましたが、それでも子ども達は元気よく学校生活を送ってくれています。昨年度以来、感染症対策をしながらの毎日には変わりありませんが、それでもできることにはチャレンジしていこうと、様々な取組に挑戦をしてきました。



動き出した学校生活～新しい出会い～

新しい年を迎え、学校の中でも新しい出会いの場がたくさんありました。1年生を迎える会は、昨年度に引き続き全校児童が参加する行事としてではなく、6年生が1年生の教室を訪れお手製の王冠を送り、これから始まる小学校生活が素晴らしいものになるように歓迎の気持ちを伝える会でした。小学校では、様々な活動を上級生と下級生のペアで行っています。その出会いの会も行われ、



いよいよ小学校生活が本格的にスタートしました。異学年のつながりは現代の子ども社会の中ではなかなか作られにくいものになってきましたが、大洲小学校では上級生が下級生のお世話をする場面が日常的に見られます。登校時、上級生が1年生のランドセルを持ったり、手を引いたりする姿、雨の日などは1年生の靴箱には何人かの上級生がいて、雨具の片付けを見守ってくれています。その上級生の思いに答えるように、1年生はこの2ヶ月でたくさんことができるようになっていきました。子ども達の姿を見ると、すべての子ども達が、「教えてもらったことができるようになりたい」「頑張りたい」「自分も誰かを支えたい」という気持ちを本当にたくさん持っているのかよくわかります。



◆教育活動を支えてくださっているボランティアの皆様、ありがとうございます◆

本校では、たくさんのボランティアの方の御協力をいただき、教育活動を行っています。「図書館ボランティア」「園芸ボランティア」「クリーンボランティア」「家庭科ボランティア」等、教職員だけでは不可能なこともたくさんありますが、ボランティアの方に支えていただいて、より良い教育環境を作ることができています。

子ども達が作り出した「あいさつ」の輪

新年度が始まり少したった頃、児童会のみなさんが「あいさつ」への取組を始めました。児童会本部はあいさつビンゴカードを作り、全校児童に配布し、楽しみながら「あいさつ」ができる仕掛けをしてくださいました。校内のあいさつから始まったビンゴカードの取組は、2枚目には進化し、「地域の方」や「登校中の中学生」などへのあいさつへ挑戦できるものになっていました。それと同時に生活専門委員会のみなさんも、登校時には昇降口に立ち、あいさつ活動をしてきています。その活動に、ボランティアとして参加してくれる子ども達の姿もありました。

私たちは、子ども達が工夫して創り出す活動を大切にしていきたいと考えています。このような経験の積み重ねが、子ども達の主体性を育んでいくのだと考えているからです。



校長室にあいさつに来てくれたみなさん

交通安全教室・交通安全リーダーと語る会で考えたこと・・・

新年度になると必ず取り組むことのひとつに、交通安全に関する学習会があります。1年生は安全な道路の歩き方や横断の仕方について、3年生は自転車での安全な乗車方法について、6年生は交通安全リーダーとして通学路の安全や気をつけなくてはならないことについて学びました。感染症への対策も同じですが、安全についての意識は子ども達が正しい知識を学び、それを活かして自分で判断して行動できる力が必要です。ここでも子どもの主体性「自分で考える力」が必要になってくるのです。すべての教育活動で子ども達の主体性が伸びていくように、学校としても取り組んでいきたいと思えます。



1年生：道路の横断の仕方



3年生：安全な自転車の乗り方

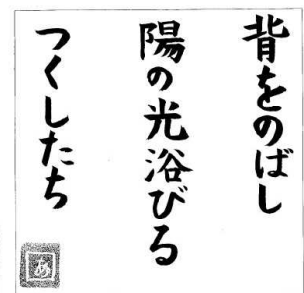


6年生：交通安全リーダーとしての役割を考える



大洲の子ども達の姿よ

大洲小学校は、大変歴史の長い小学校です。その分校舎は古く、児童数の減少もあり、なかなかお掃除の手が行き届かない現状があります。そこで、時間ができると私もお掃除をしたりするのです。私がお掃除をしていると、そこを通るのたくさんの子ども達が、「校長先生、お掃除してくれてありがとうございます」と声をかけてくれます。「お手伝いできなくてごめんなさい」と言ってくれる子どももいます。こういう温かい気持ちは、いったいどこから生まれて来るのでしょうか。きっと、この子達にかかわった全ての大人達が作り上げてきたものだろうと私は思います。大人の温かな気持ちが、子ども達に伝わり、子ども達の心も温かくする。人が人を育てると言うことは、こういうことなのだと思います。学校も、そういう所でありたいと思えました。（文責：山本真理）



大畑彩菜さん(6年)の作品